

「北ハート」とは どんな「こころ」なのか

交わし合う挨拶。履物を揃える。礼儀正しい入退室の所作。廊下を落ち着いて歩く姿。学校生活において生徒が「心」を遣った行動は、必ず形に表れる。生徒が互いに「心」を働かせていることが感じ取れる場面は多い。

先月、秋桜祭ステージ発表で耳にした「KITA-HEART」が印象深いキーワードとして、いまだに心に残っている。学校目標（自主・友愛・鍛錬）の根底に流れる「KITA-HEART」とは、いったいどんな「心」なんだろうか？

自ら考えずに、先生からの説教を受けて、履物を並べさせられている・・・そんなはずはあるまい。目指している「自ら考え、進んで学習する生徒（自主）」の「こころ」の働き的一端が、整然と並んだ履物に表れているのだと思うのです。



* 地元の区民運動会にて招待演奏中の吹奏楽部。



65年前にこの地に学校が建設された当時から、地域の皆様には本当に温かく本校を見守っていただき、あらためて感謝申し上げます。北中所在地の飯沼区の運動会に本校の吹奏楽部が招かれ、地域の皆様の前で演奏させていただく機会を得ました。日頃お世話になっている地域の行事に関わらせていただく機会は、今後も大切に、そういった場を通して、地域の皆様に励まし、育てていただくことで、更に成長できると考えています。

- 丸子コスモス大学花作り学科の皆さんが地域の皆様とともに取り組んだ学校周りの花壇が、「上田市花と緑のまちづくりコンクール」にて奨励賞をいただくことになりました。来月6日に開催される表彰式には、生徒代表として学科長が参加いたします。
- 各部とも新人戦で健闘しています。先に紹介した吹奏楽部は地元企業の周年行事にも招待されており、更に11月10日、さいたまスーパーアリーナで開催される第53回マーチングバンド関東大会に出場いたします。心（北ハート）のこもった最高のパフォーマンスとなることを、全校で祈念しております。